北信地区野球協会総会 研修会

「野球の未来 スポーツの未来 子どもの未来」

～変えるべきもの 変えてはならぬもの 変えざるをえないもの～

2023/2/12

1

ご紹介

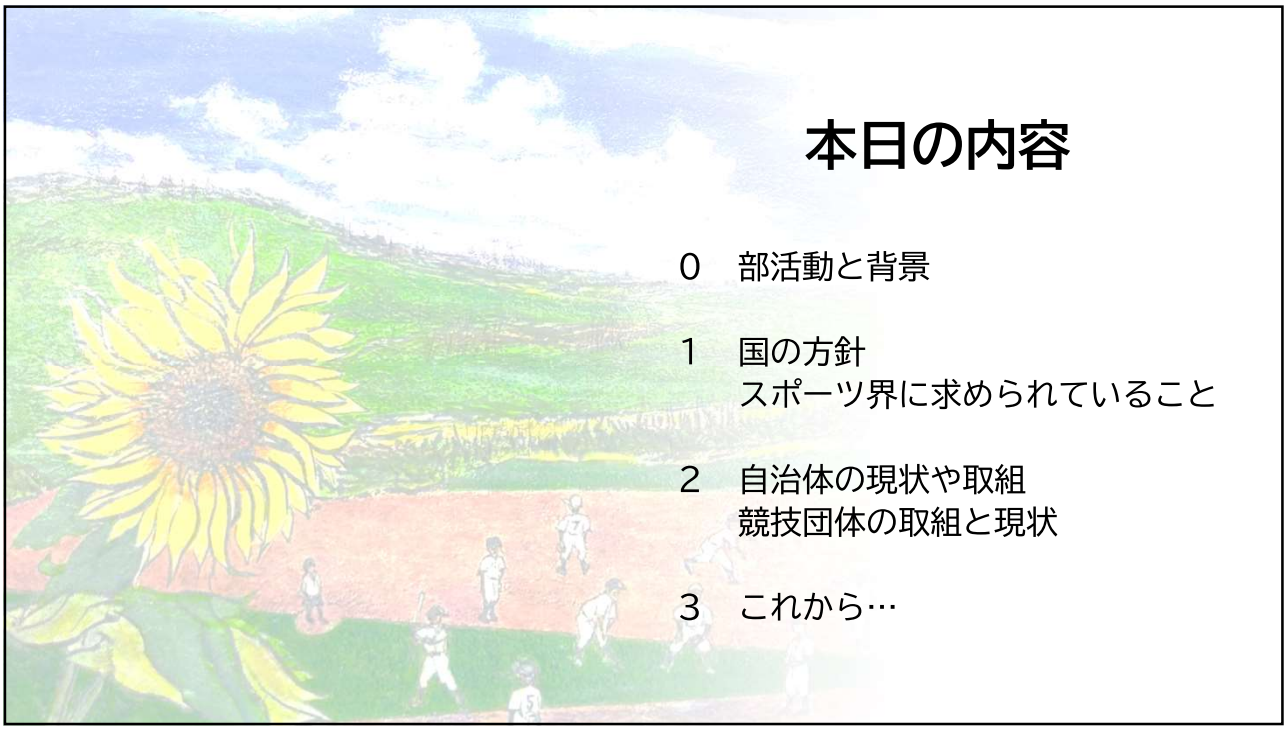
本日 特設ブースで販売します！

各 税込 ￥1,760

著者:佐藤和也 新潟医療福祉大学硬式野球部総監督
(一財)新潟県野球連盟副会長
元新潟明訓高校監督

著者:山本智章 院長
(一財)新潟県野球連盟副会長
屋代高校出身(野球部エース)
新潟「野球手帳」の製作者

2



本日の内容

0　部活動と背景

1　国の方針
　スポーツ界に求められていること

2　自治体の現状や取組
　競技団体の取組と現状

3　これから…

3

0

そもそも、部活動とは・・・
今回の地域移行の背景は？

4

部活動とは･･･

運動部活動への社会的要請

教科での育成が難しい、集団自治能力・自発性・自主性・責任感・連帯感 を滋養

日本スポーツの普及と強化

〔戦後～1950年代〕 スポーツによる民主的人間形成
〔1960年代〕 競技力向上と選手養成（東京五輪体制下）
〔1970年代〕 行き過ぎた勝利至上主義～スポーツ大衆化指向
〔1980年代〕 生徒の非行防止の歯止め役
〔1990年代〕 学校スリム化論で生涯スポーツ（地域移譲論議）

5

学習指導要領と部活動

平成元(1989)年改訂

・特別活動の内容として週1回の「**クラブ活動**」
・同年の改訂で**授業外の教育課程外活動の部活動で代替え可能**
（部活動代替措置）

平成10(1998)年改訂（実施は平成14年）

・必修の「クラブ活動」が廃止…部活動は**課外活動**

これ以降、法的に設置や実施は求められていない活動に

平成20(2008)年改訂

・**学校教育の一環として教育課程との関連**を図る
・地域や各種団体と連携し運営上の工夫を

6

引用：友添秀則氏

■学校運動部の存在理由

＊学校での居場所づくりとしての運動部
＊すべての生徒への運動部活への参加選択権の保障
＊正課体育との連携の容易さ
＊正規の教員の責任下で、学校内スポーツ施設で日常的に指導可能
＊自主性・主体性、有能観、自治能力等の資質・能力の育成
　→　教育のカテゴリーで考えるべきで学校教育外に出すと難しい

■地域移行への反対

＊学校運動部は日本人のスポーツ観を規定し、日本のスポーツの在り方の範型を提供してきた制度。さらに、正課体育と連動しながら生涯にわたるスポーツライフの基礎を培ってきた制度。
＊我が国の学校運動部は世界に類例をみない独特の日本型スポーツ教育システム これを一度壊すと、元に戻すことができない。

しかし　現実には→水泳、体操競技、サッカー、レスリング　etc.⇒　クラブ化

7

背景(流れ)

毎日新聞　2016年4月25日

部活顧問「教員に選択権を」ネットで発信、賛同者２万人超

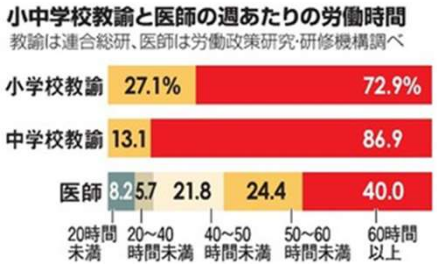
若手教員らが昨年１２月、部活の顧問を引き受けるかどうかの「選択権」を求めインターネット上のサイトで署名を集める運動を始めたところ、３カ月間で約２万３５００人分が集まり、３月初めに文部科学省に届けられた。

産経ニュース　2017/4/28

中学教諭５７％「過労死ライン」
文科省調査　残業８０時間、小学校は３３％

朝日新聞 DIGITAL　2017/4/28

小中教諭の７割、週６０時間超勤務
医師や製造業上回る



8

なぜ、改革なのか

引用:友添秀則氏

運 動 部 活 動

◆法的位置づけの曖昧さ
◆進展する少子化
◆衰退する地域

●中・高生のスポーツ権の保障からみた問題性
●教員の長時間労働の点からの問題性

今、求められる持続可能な運動部活動のあり方の構築

少子社会の中で、地域・学校で子供のスポーツニーズに対応できない現実

学校教育課題の多様化と複雑化、部活対応による教員の過重労働とその疲弊

新たな運動部活動のあり方の検討の必要性

①運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン 2018年

②学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について　2020年

③運動部活動の地域移行に関する検討会議　2021年

2019年
給特法
付帯決議

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン　2022年

9

生徒からみた学校運動部の課題

引用:友添秀則氏

【現在の課題】

- 小学校卒業後、運動部活動以外でスポーツを継続できる機会（環境）が少ない。（指導者不足・運動部体制）
- 中学校（高校）の運動部活動で正しい技術指導を受けられる機会が少ない。小・中・高校の一貫指導（系統的指導）を受けられない。（指導者の資質・能力）
- 少子化、教員の多忙化と疲弊で生徒のニーズに応じた部活動自体が成り立たなくなりつつある。

10

1

スポーツ庁の方針
スポーツ界に求められていること

11

スポーツ庁　検討会議

令和3年10月～令和4年5月 【8回開催】

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革（令和2年9月）
（教員の働き方改革は達成すべき課題でありそのための部活動改革）

↓

今の部活動の体制は将来的に維持できない現実

↓

持続可能な望ましいジュニアスポーツ環境構築が必須

働き方改革と部活動改革を分けて説明や対策を考え、説明した方がよさそうだ。
結果的に働き方改革も進むことになるだろう！

12

運動部活動の地域移行に関する検討会議提言　ポイント

頁	主なポイント
1,2	過去通知 H30年3月　スポーツ庁策定 「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」 H31年1月　中央教育審議会 「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について(答申)」 R元年11月 衆議院文部科学委員会の附帯決議（給特法） R元年12月 参議院文教科学委員会の附帯決議（給特法） 「部活動を学校から地域単位の取組とし・・・早期に実現すること」
3	今後の目指す姿 ・単に運動部活動を学校から切り離すということではなく、地域で持続可能で多様なスポーツ環境を一体的に整備し、多様なスポーツ体験機会を確保する。 ・適正なガバナンスを確保した実施主体が整備されるべき ・公立、国公の高等学校は、中学校と異なる状況にあるため、各学校の実情に応じて運動部活動の改善に取り組む。私立学校はこの取組を参考にして適切な指導体制構築を
5	改革の方向性 ※まず休日から移行するが平日の地域移行も視野に入れ、柔軟な体制づくりを ・受入れ側（運営主体）が将来構想をもって運営しやすくするため
9,10	新たな地域スポーツ環境の在り方と構築 ・実施主体は「スポーツ団体ガバナンスコード」に準拠した運営が必要 ・現行の部活動のような競技志向だけでなく、幅広いスポーツ活動に親しむ活動や、体験型の活動、レクリエーション的な活動、シーズン制の複数活動可能な体制づくり、障害の有無にかかわらず一緒に活動できる環境づくりを ・アーバンスポーツ、ユニバーサルスポーツを経験できる機会に期待 ・地域により子供だけの設置が難しい場合、大人とともに活動する形態も考えられる。
13	・教育委員会から地域スポーツ所管部署が中心となり、学校設置管理部署と連携しながら検討を進めていく必要がある。
14,15	環境構築スケジュール R4）アンケート、大会参加資格等の結論　R5）新参加資格に沿った大会の実施
16,17	地域スポーツ団体等の整備・充実 ・スポーツ推進委員が地方公共団体と地域スポーツ団体との連絡調整役を
20	指導者の質の保障と量の確保 ・競技団体が主催する大会において、公認スポーツ指導者資格の取得を義務付け
24	・教師が地域でスポーツ指導に従事する場合、異動や退職にかかわらず継続性があることが、参加する子供たちにとって望ましい。 ・勤務校で指導する場合は、異動や退職後の継続指導意向の有無を踏まえること
26	施設確保 ・学校開放規則改正や運用改善（営利を目的とした利用を一律認めていない場合） ※指定管理者制度の導入も検討する

頁	主なポイント
29	大会に関して ・全国1位に至るまで上を目指す仕組みが様々な問題の一因（ふさわしい活動内容の運動部活動はほぼ見られない） ・トーナメント方式のためレギュラーの固定化や過度な負担
30,31	・全国大会の回数についても再検討を要請 ・レベル（技術や志向）に応じた大会設定を要請 ・WBGTと大会開催時期についての検討要請
32	・教員が引率しないでよい体制を整える旨を規定する必要あり ・日本中体連は集団競技でも、外部指導者による引率を可能とすることが望ましい
33	・大会運営は大会主催者が経費を用いてアルバイト雇用も含めて考えるべき （競技団体に所属していない教員を役員とすることはよくない） ・大会審判などはスタッフとしての委嘱をするなど、服務上の扱いが曖昧は不可
37	会費 ・経済的に困窮する家庭への支援方策として、地元企業からの基金や国の支援が必要
38,39	保険の在り方 ・自身の怪我等だけでなく、個人賠償生人保険への加入も ・災害給付制度とスポーツ安全保険の補償額の差を国が是正する働きかけ
41,42	学習指導要領 ・地域移行後の生徒のスポーツ活動に関しては、学校の教育課程外の活動として、社会教育法上の「社会教育」の一環として位置づくものである。 ・現状記載内容で、改善が求められる内容について国からの通知で理解の促進を （強制加入廃止、学校の判断で実施しない、教師の必業務ではない、複数参加等） ・次期改訂時の抜本的見直し
45,46	高校入試 ・生徒による自己評価資料の導入（教員の記載業務増加にならない配慮必要） ・部活動の調査書の扱いを入試要項や高校のホームページ等で明示する
50~52	改訂期間中の部活動 ・一人一人の違いに応じた対応を（時間を短くするなどの工夫や配慮を） ・シーズン制の導入など、複数のスポーツが体験できるように ・文化とスポーツの両方の体験も可能な体制づくり ・ガイドラインを遵守 ・教師以外の配置や大会引率の体制構築
54	指導体制の見直し ・地域移行が進まない場合は、他の学校との合同部活動の実施も
56	達成時期 ・令和7年度末を目途とする ・都道府県、市町村とも実施後の課題集約や評価、改善を行う体制を継続的に構築する。

何を求められ、どういう方向性なのか？
スポーツ庁HP等でまずは確認が必要！

13

スポーツ界へ求められる対応（提言内容より一部抜粋）

志向や体力に応じた機会の確保
・競技志向、特定の運動種目に専念 ⇒ 複数の運動種目を経験できる活動

健康への配慮
・現行のガイドラインの医・科学的観点も踏まえ定められた活動時間を遵守し休養日を設定

指導者の質
・競技団体等が主催する大会において、監督・コーチの公認スポーツ指導者資格の取得を義務付
・その他の大会や日常的な指導においても、できる限り公認スポーツ指導者資格を有する指導者

多様な大会の実現と選択できる制度
・スポーツに親しむことやスポーツを通じた生徒間の交流等を主目的とした大会
・高い水準の技能や記録に挑む生徒が競い合うことを主目的とした大会
・リーグ戦導入や、能力に応じた能力別にリーグの検討

参加者の安全確保
・気温や湿度、暑さ指数（WBGT）15等の客観的な数値による大会開催判断
・天候不順等により大会日程が過密になった場合、試合数削減や途中打ち切り等を健康最優先

14

スポーツ庁からJSPOへ要請

４ス庁第８２４号
令和４年７月２６日

公益財団法人日本スポーツ協会
会長　伊藤　雅俊　殿

スポーツ庁長官
室伏　広治

運動部活動の地域移行に関する検討会議提言を踏まえた対応について（要請）

運動部活動の改革について、スポーツ庁では、平成３０年３月の「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）や、中央教育審議会答申及び国会での附帯決議も踏まえ、令和２年９月に、「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」を示しました。この中では、令和５年度以降、休日の運動部活動の段階的な地域移行を図るとともに、休日の部活動の指導を望まない教師が部活動の指導に従事しないこととする方針を示しています。

こうした取組を受けて、運動部活動の地域移行を着実に推進していくため、地域におけるスポーツ環境の整備方策等について、令和３年１０月より、「運動部活動の地域移行に関する検討会議」において集中的に検討が行われ、令和４年６月６日には提言が取りまとめられたところです。

本提言においては、運動部活動の地域移行を進めていくため、国から各団体に要請すべき内容が盛り込まれるとともに、「今後、スポーツ庁や各地方公共団体等においては、JSPOや各競技団体、中体連、スポーツ団体、企業や大学等の幅広い関係者の協力も得て、地域におけるスポーツ環境の整備に必要な措置を着実に実施するとともに、検討会議に参画した関係団体はもちろん、その他の関係する団体等においても、本提言の内容を着実に実施すること」が求められています。

貴協会におかれても、今回の提言の趣旨・内容を十分に御理解の上、下記の取組を

JSPO加盟競技団体主催大会において
・生徒の志向等を踏まえ大会の在り方や参加資格、引率規程の見直し
↓
令和4年度中の結論を求める

15

10代でスポーツ引退「不幸の始まり」室伏長官が示す全国大会改革

朝日新聞 DIGITAL
（2022/4/19）

勝利至上主義を考える

スポーツ庁の室伏広治長官（47）は、こんな疑問を投げかける。「小学生から全国大会をやる必要があるのか」「真の全国での1番は、高校生や大人になってからではないと選ぶことはできないんじゃないか」

スポーツ行政のトップの言葉は重い。自身の役職を「青少年の心と体を守る立場」という。小学生の柔道の全国大会が、「行き過ぎた勝利至上主義が散見される」として廃止となり、一歩踏み込んだ発言に至った。

「一律に全国大会を廃止しても…」バスケ協会が先行する改革のゴール

「勝つための無理な減量、増量などは成長期にあってはならないこと。これからは健全で楽しめるスポーツ、生涯スポーツという視点からの取り組みが重要になってくる」

スポーツ庁としては、育成年代の環境をどう整えていくのか。

今春策定した第3期スポーツ基本計画では、社会におけるスポーツの価値を高めるという視点が強調された。中学校の部活動改革を話し合う会議のなかでは、小学校はおろか、中学校の全国大会も規制した方が良いという意見が出ている。

16

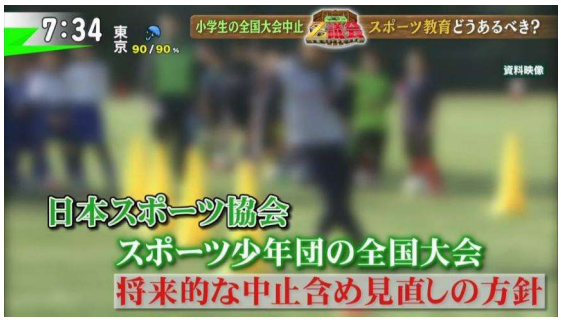
スポーツ庁　今後のジュニアスポーツ

【小中学生層を対象として】

❖室伏長官の経験から
　・ユース五輪選手から五輪選手の現状
❖大会の在り方の見直し
　・日本チャンピオン決める必要性があるのか？
　・世界の国々は？
❖ジュニア期からの種目固定制度の見直し
❖強化の必要性（競技団体の都合は×）
❖ニースに応じた体制（大会・活動）
❖地域部活動は「強化」目的ではない

17

「中学生まで全国大会はいらない」
為末大さん



軟式野球、剣道、バレーボール、サッカー、ホッケーの5種目で行われてきた。
それぞれの中央競技団体には中止を検討中であることを伝えている。

18

2

自治体・競技団体の取組と現状

19

今後の方向性をきめる不明確要素

- 次期学習指導要領改訂での「部活動」の記載（扱い）
- 全中大会開催の継続有無
  …都道府県中体連大会の在り方
- 国の具体的な支援（国を受けた「県」「市町村」）
  …指導者、実施主体、経済的困窮家庭

国の補助はいつまで？

- 全国及び都道府県大会参加規定
  …詳細発表されたが、競技別に細かな確認が必要

20

新潟県 教員調査結果(令和4年11月)より

全体結果から

回答数 3,100 (回答率:約65%) ※令和3年度教員数を参照

指導の希望状況

「希望する(362人)」「条件によって希望する(745人)」 ➡ 1,107人 35.7%

未回答者(約1,600人)

「希望しない」と仮定すると 何らか指導協力可能な予測教員割合 ➡ 23.2%

21

①

自治体の動き

県・市区町村

22

今回の制度はどこが担当？

●公立中学校は「市町村立」… 制度は市町村によって異なる

●県ができること（示せること）は限界がある
・市町村の環境の違い
例）学校数、生徒数、地理的環境、交通網、
スポーツ協会（有無や実力）、民間教室
総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団 etc

23

情報があまり出てこない理由は？

◆通知等はほぼすべて「教育委員会」へ
・競技団体やスポーツ協会への通知はなかった
・提言では、主体は「スポーツ振興所管部署」

◆行政内での担当部署決定が明確にならない
・協議や方針策定することができない
・これまでに例のない取組、失敗は許されない
（他の様子を見ながら進めよう・・・）

24

競技団体は？

●PF（都道府県競技団体）対象に説明しても、制度が市町村によって違うので、一律の指示が出せない。

●何を求められているのかわかりにくい
- 指導者？
- 運営団体？
- 検討委員会の構成員レベルだけ？

※実際の市区町村は、情報を出せる段階でないことが多い

25

事例

長岡市検討委員会

スポーツ・芸術文化活動環境整備検討委員会

【コンセプト】
- 子どもにとって混乱の少ない移行
- 子どもの選択(体験)の幅を広げる
- 持続可能な「スポーツ・芸術文化」環境整備
- 市内全域で可能な方策
- 家庭への負担への配慮
- 中学生から小学生への拡大
- 一部の人だけの負担にならない

今の部活動制度を単純移行するだけでは、持続可能性や平等な種目選択権は担保できない！

26

【自論】

部活動地域移行　ゴールのイメージは？

不明確要素多数　でも　目指す姿を形にしなければ進みにくい

令和5年4月
段階的移行開始

令和８年４月の姿
（全中5巡目最終年度）

令和〇〇年の姿

全中大会：実施
学習指導要領：現行

平日：学校部活動
（週4日）
※教員従事
休日：地域クラブ
（土日いずれか1日）
※地域住民

学習指導要領
⇒「部活動」削除？
全中大会
⇒ 継続？廃止？

27

【自論】

部活動地域移行　ゴールのイメージは？

不明確要素多数　しかし　予想される姿を描き、準備することが必要では

〔想定しておくべき可能性の姿〕

●もし、次期学習指導要領改訂で「部活動」が削除されると段階的に
・地域部活動 → 地域クラブ → 競技団体加盟クラブ

●もし、全中大会廃止（中体連主催大会の廃止）されると
・競技団体主催大会に一本化されるかも

❖クラブは土日中心の活動（平日は１日程度か？）
・指導者がいるクラブは平日の活動や放課後時間の可能か？
【現在のスポーツ少年団のような活動イメージか？】

❖クラブのガバナンスは学校や教育委員会から競技団体orスポーツ協会等に？
（市町村設置の部活動地域移行協議会が監督する場合も考えられるかも）

28

全体構想イメージ(スポーツ分野の例)

もう少し活動したい
色々な種目をやりたい
さらに技能向上を目指したい

現部活動に近い活動
全国レベルの勝利は求めない

健康志向レベルで運動や身体活動

29

全体構想イメージ(スポーツ分野の例)

志向に応じた選択
複数種目経験

混乱の少ないスムーズな移行
学校規模による格差是正

志向に応じた選択
スポーツに触れる機会確保

30

②

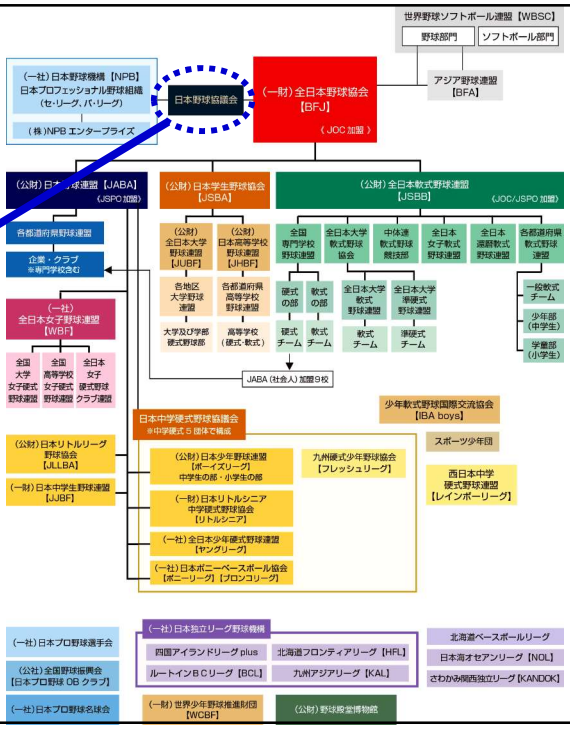
野球界の取組

BFJ・JSBB

31

日本の野球団体関係図

日本野球協議会
（プロアマ）



32

2022年12月20日現在

一般財団法人
全日本野球協会
BASEBALL FEDERATION OF JAPAN

加盟組織
(公財) 日本オリンピック委員会 (JOC)
世界野球・ソフトボール連盟 (WBSC)
アジア野球連盟 (BFA)
(公財) 日本アンチ・ドーピング機構 (JADA)
(一社) 日本スポーツフェアネス推進機構

加盟団体
(公財) 日本野球連盟
(公財) 日本学生野球協会
(公財) 全日本軟式野球連盟

評議員会 — 会長 — 副会長 — 理事会 — 業務執行会議

担務 会長補佐
総務全般 財務担当 JOC担当

業務執行理事
選手強化担当 審判関連事業担当 普及振興事業担当 コンプライアンス・法務担当 国際事業担当

事業統括 専務理事
事務局

- 選手強化委員会 — 医科学部会
- アンチ・ドーピング委員会
- アマチュア野球規則委員会
  - 規則部会
  - ライセンス部会
  - 公式記録部会
  - 用具部会
- 普及振興委員会 — 団体間連携部会
- 総務委員会
  - 広報部会
  - 中長期事業計画 WG
- Baseball5 委員会
- コンプライアンス委員会
- 国際事業委員会 — ラバーボール普及検討部会
- アスリート委員会

■普及振興委員会

委員長	谷田部和彦
副委員長	井上康雄
委員	井本　亘
	上野義孝
	佐藤栄一
	高橋大地
	長又淳史
	宮内　將

団体間連携推進部会

部会長	井上康雄
副部会長	山口　宏
部会員	石川智雄
	井本　亘
	上田　誠
	高見泰範
	吉岡大輔

33

公益財団法人 全日本軟式野球連盟
JAPAN RUBBER BASEBALL ASSOCIATION

公益財団法人 全日本軟式野球連盟(JSBB)組織図

- 独立監査人 — 監事 — 評議員会
- 理事会
  - 財務組織対策事業
  - 競技運営対策事業
  - 育成活動推進事業
  - 代表理事 業務執行理事
    - 総務担当理事
    - 規律担当理事
    - 企画担当理事
    - 指導担当理事
    - 競技担当理事
    - 広報担当理事
- 特別委員会
  - アクションプラン事業推進委員会
  - 倫理・コンプライアンス委員会
  - 規程財務検討委員会
  - 国体対策委員会
  - アンチ・ドーピング委員会
  - 将来構想委員会
- 専門委員会・関係部会
  - 競技運営委員会 — 記録部会, 放送部会
  - 審判技術委員会
  - 医科学委員会
  - アスリート委員会 — 女性部会, 少年部会
  - 指導者育成委員会
  - 広報委員会
- 事務局
  - 47都道府県支部 — 末端支部(市区町村連盟) — 登録チーム(学童・少年・一般)
  - 加盟団体
    - 大学協会
    - 専門学校
    - 連盟連盟
    - 中体連
    - 女子軟式連盟

34

35

公益財団法人全日本軟式野球連盟
JAPAN RUBBER BASEBALL ASSOCIATION

中学校運動部活動地域移行の経過

No.	年月	事項
1	令和3年10月～ 令和4年5月	スポーツ庁：「運動部活動の地域移行に関する検討会議」開催 ＊検討会議詳細は、コチラをご確認下さい。
2	令和4年6月	スポーツ庁：「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」手交 ＊提言詳細は、コチラをご確認下さい。
3	令和4年6月	全軟連：全軟連少年部会において、中学校運動部活動の地域移行に係る対応策の検討を開始
4	令和4年7月	スポーツ庁：日本スポーツ協会（JSPO）に対して、「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言を踏まえた対応について（要請）」発出 ＊要請詳細は、コチラをご確認下さい。
5	令和4年7月	全軟連：「中学校部活動地域移行に係る概要説明会」を47都道府県支部および47都道府県中体連軟式野球競技部を対象に開催 ＊現状調査のための、アンケートを実施（アンケート結果は、下記からご確認下さい。） 1.中学校運動部活動地域移行に係るアンケート調査（47都道府県支部 集計結果） 2.中学校運動部活動地域移行に係るアンケート調査（中体連軟式野球部 顧問教員 集計結果）
6	～令和4年12月 （現在）	全軟連：全軟連少年部会において、対応策を検討中 ＊正式に対応策が決定次第、情報公開を行います。

＊参考：全軟連NEWS第3号にて、本件のポイント解説を掲載しています。
全軟連NEWS抜粋版はコチラからご確認下さい。

■日本スポーツ協会特集ページ
運動部活動改革に向けた取り組み～ジュニアスポーツの環境改善・充実に向けて～
が掲載されています。以下よりご確認ください。
日本スポーツ協会特集ページ

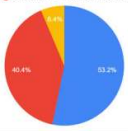
36

中学校運動部活動地域移行に係るアンケート調査
（47都道府県支部対象）
【集計･とりまとめ 2022年10月】
JSBB47都道府県支部回答（47/47）

公益財団法人　全日本軟式野球連盟

【質問１】都道府県中体連軟式野球部との組織的連携について

「質問１：現状、都道府県中体連軟式野球専門部との組織的な連携はありますか？」



- ◆ 十分にある
  青森・岩手・山形・茨城・栃木・群馬・東京・神奈川・新潟・長野・富山・静岡・三重・兵庫・和歌山・徳島・愛媛・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
- ◆ 予選大会における連携あり
  北海道・宮城・秋田・福島・埼玉・千葉・石川・福井・岐阜・滋賀・京都・奈良・島取・島根・岡山・広島・山口・香川・高知
- ◆ 全くない
  山梨・愛知・大阪

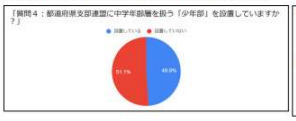
【質問２】都道府県支部連盟もしくは、市区町村未端支部連盟への中体連軟式野球部関係者の登用について

「質問２：都道府県支部連盟もしくは、市区町村未端支部連盟の役員として中体連軟式野球部の関係者を登用していますか？」

- ◆ 登用している
  青森・山形・群馬・埼玉・千葉・東京・新潟・長野・富山・石川・静岡・三重・岐阜・滋賀・奈良・和歌山・島根・岡山・広島・香川・徳島・愛媛・高知・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
- ◆ 登用していない
  北海道・岩手・宮城・秋田・福島・茨城・栃木・神奈川・山梨・福井・愛知・京都・大阪・兵庫・島取・山口

【質問４】都道府県支部連盟における「少年部」の設置状況について

「質問４：都道府県支部連盟に中学年部層を担う「少年部」を設置していますか？」



- ◆ 設置している
  栃木・東京・新潟・富山・石川・静岡・三重・岐阜・滋賀・京都・大阪・奈良・和歌山・広島・香川・愛媛・高知・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
- ◆ 設置していない
  北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島・茨城・千葉・神奈川・山梨・長野・福井・愛知・兵庫・鳥取・島根・岡山・徳島・福岡・長崎

【質問５】今後の設置予定について　＊設置していない支部への質問

「回答を、現時点で「設置していない」と回答された方に伺います。今後設置予定はありますか？」

- ◆ 設置予定がある
  岩手・宮城・群馬・埼玉・神奈川・長野・山口・福岡・長崎
- ◆ 設置予定はない
  北海道・青森・秋田・山形・福島・茨城・千葉・山梨・福井・愛知・兵庫・鳥取・島根・岡山・徳島

【質問６】市区町村未端支部連盟に「少年部」を設置している「市区町村」について

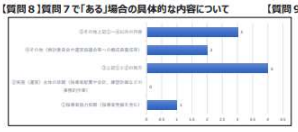
- 東京都23区・15市
- 横浜市中区
- 石川県金沢市
- 大阪府下全支部
- 栃木県宇都宮市
- 島根県松江市
- 埼玉県さいたま市
- 和歌山県和歌山市
- 滋賀県東近江市・近江八幡市
- 静岡県内 末端31支部
- 青森県青森市
- 愛媛県松山市
- 熊本県熊本市（他19末端支部）
- 京都府福知山市
- 富山県富山市
- 高知県
- 愛知県
- 広島県
- 宮崎県延岡市・宮崎市・小林市・都城市・日南市・西都市・日向市・川南町
- 岐阜県岐阜市（他27末端支部）
- 佐賀県

【質問７】都道府県もしくは、市区町村行政からPFに対し、地域移行後の受け皿として、方向性の提示等の有無について

「問７：中学校部活動指導の過程から、即に所属部運営者をしっかり活用し村行政から地域移行後の受け皿として、相談指導に関し、方向性の提示や義務行政相応の参与をする！」

- ◆ 提示等あり
  山形・栃木・千葉・新潟・富山・福井・静岡・岐阜・大分
- ◆ 提示等なし
  北海道・青森・岩手・宮城・秋田・福島・茨城・群馬・埼玉・東京・神奈川・山梨・長野・石川・愛知・三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・島根・岡山・広島・山口・香川・徳島・愛媛・高知・福岡・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

【質問８】質問７で「ある」場合の具体的な内容について



【質問９】質問８で「③その他」の具体例について

- 大分県体育保健課から地域移行の方針説明はあったが、具体的内容は未公表
- 山形県野球活性化推進会議にて具体的検討中
- 中体連では、主催できない春季大会を軟野連で主催し、全中大会へ、他上位を諸々の大会へ派遣する。（セーレン杯福井県中学校選手権大会）役員は、軟野連と中体連合同
- 現在いくつかの都市で試験的に実施している（富山県）

中学校運動部活動地域移行に係るアンケート調査
（中体連軟式野球部 顧問教員 対象）
【集計・とりまとめ 2022年10月】

公益財団法人　全日本軟式野球連盟

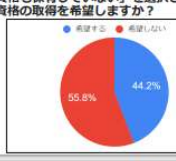
【質問１】都道府県別　アンケート回答者数　＊2021年中体連加盟校数「8,048」

都道府県名	回答者数	都道府県名	回答者数	都道府県名	回答者数
北海道	79	新潟	163	岡山	55
青森	6	富山	33	広島	14
岩手	16	石川	57	山口	64
宮城	9	福井	20	香川	48
秋田	39	静岡	129	徳島	34
山形	35	愛知	122	愛媛	54
福島	89	三重	127	高知	40
茨城	79	岐阜	33	福岡	219
栃木	85	滋賀	12	佐賀	36
群馬	63	京都	31	長崎	34
埼玉	75	大阪	126	熊本	77
千葉	218	兵庫	152	大分	42
東京	18	奈良	10	宮崎	39
神奈川	79	和歌山	41	鹿児島	77
山梨	40	鳥取	59	沖縄	56
長野	43	島根	1	合計	2,978

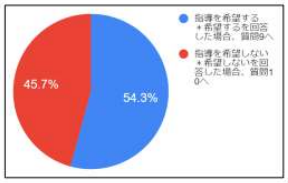
【質問７】現状、都道府県軟式野球連盟との組織的な連携はありますか？

【質問６】現在、指導者資格として、JSPOもしくはJSBB資格、BFJ資格のうち、保有しているものを選択下さい。（複数選択可）

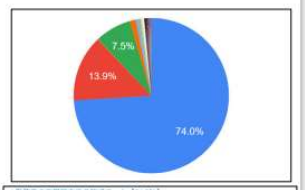
【質問７】質問６で「いずれの資格も保有していない」を選択された方にお聞きします。中学校部活動が地域移行となった場合、指導者資格の取得を希望しますか？



【質問８】中学校部活動が地域移行となった場合、指導を希望しますか？



【質問９】質問８で「指導を希望する」と回答された方にお聞きします。以下のいずれの運営形態のチームでの指導を希望しますか？（最も希望する形態を選択下さい。）



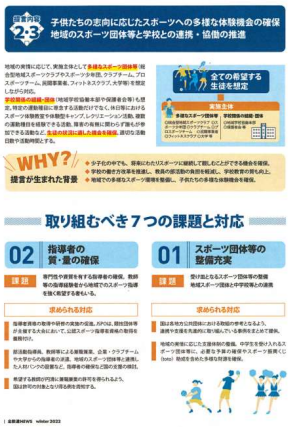
- ◆勤務先の中学校主体の軟式チーム【74.0%】
- ◆居住地域の中学校主体の軟式チーム（複数校合同チーム含む）【13.9%】
- ◆地域主体の軟式チーム（スポーツ少年団や総合型地域ＳＣ等）【7.5%】
- ◆硬式クラブチーム【1.2%】

＊その他、少数希望形態は、次スライドに記載

37

38

全軟連NEWS　年1回発行広報誌



39

検討中（少年部設立）

（公財）全日本軟式野球連盟　少年部の設置について

1．少年部とは？

・「学童部」と区分して中学生層を対象とする部門を「少年部」とする。

2．どこに設置するの？

・各都道府県連盟および市区町村連盟に設置　【都道府県内に中間組織がある場合の設置は一任】

3．役員のイメージは？

A：市区町村野球連盟「少年部」に各チームから１名以上の「運営委員」を選出し登録
　…市区町村野球連盟では「運営委員」から少年部代表１名を選出する。
　（市区町村連盟役員への登用が望ましい）

※【中間組織がある場合】　複数の市区町村連盟少年部代表で組織する地区組織

B:都道府県連盟「少年部」は、都道府県内の少年部を代表する１名
　（都道府県連盟の役員への登用が望ましい）

C:ブロック「少年部」はブロック内の都道府県連盟少年部代表からなる組織。
　ブロック長１名を選出する。（ブロック長は、ブロック連盟の役員への登用が望ましい）

D:全軟連　…　各ブロック少年部代表から選出された１名

4．なぜ必要なの？

・中学校の部活動地域移行に伴い、連盟主催大会の中体連に対する運営依頼が難しくなるため
・中学校の部活動地域移行に伴い、チーム数の減少や野球人口減少を防ぐ手立てとして
・連盟の役員の高齢化と役員数不足（持続可能な大会運営が厳しくなりそう）
　➡　連盟役員数の増加と基盤強化（少年部から審判員以外の役員選出候補も）
・スポーツ庁、JSPO から競技団体への要請を実現するため（詳細別紙資料で確認）
　＊現状、連盟役員体制で少年部の大会を運営している場合は、大会運営を主目的とした「少年部の設置の必要性は薄い」が、中学校教員と連携して少年部の活性化を図るために検討をいただきたい。

5．具体的に何をするの？　（少年部運営委員の役割）

・大会要項作成、大会案内、申込受付業務、抽選、役員派遣事務、大会当日総務　等
・都道府県内の連盟主催大会運営
　…運営役員は都道府県内全域の市区町村連盟少年部運営委員から配置
　（大会当日の審判員派遣や理事長派遣等の依頼は各都道府県実態による）

6．報酬は？

・大会運営の報酬として、大会主催団体（各連盟）が、支払いを行う必要がある。
　ただし、財源は行政補助等を含め、検討中

7．いつまでに設置するの？

・２年後（令和７年２月）までに設置をお願いしたい。
　各都道府県内での「少年部運営委員」登録も令和７年度からスタートを！

40

JSPO
Japan Sport Association

お知らせ 2022/07/26

連動部活動の地域移行に関してスポーツ庁からの要請がありました

令和4年7月26日、運動部活動の地域移行に関する当協会会長宛の要請文をスポーツ庁からを受け取りました。

この要請文では、次の３点の取り組みを検討することが求められています。
（1）地域におけるスポーツ活動の実施主体（総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等）に関する取り組み
（2）地域におけるスポーツ指導者の質の保障・量の確保方策に関する取り組み
（3）大会の在り方に関する取り組み

【スポーツ庁の室伏長官（写真右）から要請文の手交を受ける当協会の森岡専務理事（同左）】

取り組み紹介・関連資料

取り組み紹介

- 学校部活動との連携に取り組む総合型地域スポーツクラブ紹介動画
- 2021年度ブロック別クラブネットワークアクション　全国共通プログラムテーマ「運動部活動改革についての情報共有」資料
- 運動部活動改革の取組事例 ※スポーツ庁サイト
- 令和３年度における運動部活動の地域移行等に関する実践研究事例集について ※スポーツ庁サイト

加盟団体の取り組み

- 全日本軟式野球連盟

関連資料

Sport Japan2022年度連載
2023年度からスタート！ 地域移行でどう変わる？「学校運動部活動」

41

中体連
全中参加特例競技部規則

事務連絡
令和４年１２月２２日

都道府県中学校体育連盟会長様
事務局御中

（公財）日本中学校体育連盟
会長　平　井　邦　明

令和５年度全国中学校体育大会
地域スポーツ団体等の参加の特例競技部細則

6　軟式野球	中体連主催の大会に参加を希望する地域スポーツ団体等は、以下の条件を満たしていること。また、各予選会の実施方法、参加方法については都道府県中体連の開催基準に従うこと。 1　日本中体連が示した参加規定を遵守している。 2　継続的に活動し、都道府県軟式野球連盟に加盟している。 3　指導者は以下に示すいずれかの資格を保有している。 ①日本スポーツ協会公認コーチ１（軟式野球） ②日本スポーツ協会公認コーチ３（軟式野球） ③BFJ 公認野球指導者基礎Ⅰ（U-15） ※監督の保有を必須とするが、保有していない場合には、代表者、コーチのうち最低１名の保有を必須とする。 4　大会運営、審判員派遣の依頼に対応できる人員を確保している。 ※審判員については、「一般財団法人全日本野球協会　アマチュア野球規則委員会公認３級審判員」以上の保有を必須とする。

42

【参考】JSPO公認指導者有資格者数

2022年10月現在

1．軟式野球競技（全国）

資格名	人数
公認コーチ１	2,937
公認コーチ３	409

2．軟式野球競技（長野）

資格名	人数	（新潟）
公認コーチ１	75	160
公認コーチ３	3	13

3．全競技（全国）

資格名	人数
公認コーチ１	119,500
公認コーチ３	24,832

参考：JSBB学童コーチ　長野　88　（新潟100）

43

43

【参考】JSPO公認指導者有資格者数の比較

	競技名	スタートコーチ	コーチ１	コーチ２	コーチ３	コーチ４	合計
1	サッカー	-	30,662	-	7,408	3,059	41,129
2	バレーボール	772	17,075	742	668	492	19,749
3	ソフトボール	757	11,365	483	435	55	13,095
4	バスケット	-	11,209	-	1,078	411	12,698
10	軟式野球	-	2,937	-	409	-	3,346
15	ハンドボール	708	1,095	35	806	103	2,747
16	ラグビー	-	1,134	46	1,160	100	2,440

※公認スポーツ指導者養成全74競技（種目含む）中、団体/球技種目の有資格者一覧　2022年10月1日現在
※競技左の数字は、全団体中の有資格者数の順位

44

44

JSPO Japan Sport Association

教員免許所持者　スタートコーチ

スポーツ指導者(資格情報)
スタートコーチ（教員免許状所持者）

競技別指導者資格

- スタートコーチ
- スタートコーチ（教員免許状所持者）
- コーチ１（旧：指導員）
- コーチ２（旧：上級指導員）
- コーチ３（旧：コーチ）
- コーチ４（旧：上級コーチ）
- 教師
- 上級教師

役割

今後の「新たな地域スポーツ環境」の構築に向けた取り組みにおいて資質能力を身に付けた指導者の確保・育成が急務となっていることに対応するため、**公認スポーツ指導者資格を未保有**で、兼職兼業の許可を得て指導したいというスポーツ指導に積極的な教員（教員免許状所持者）を対象として本講習会を開催する。

資格創設の背景等はこちら

※すでに特定の競技の専門的な指導を行っている（行うことが決まっている）方で、当該競技において「スタートコーチ」資格や「コーチ１」以上の資格が養成されている場合は、当該資格の取得をご検討ください。

受講内容［令和4年度用］

受講条件	受講する年の4月1日現在、教員免許状を所持している者。 スポーツ指導の経験を有する者（指導期間は問わない）。または、今後、スポ ーツ指導に携わる予定がある者。 他の公認スポーツ指導者資格（公認スポーツリーダー資格を含む）を保有していない者。 指導者マイページから申込ができる者。（申込用紙での受付は致しません。）	
カリキュラム	共通科目	15時間
	専門科目：	4時間
実施方法	共通科目：	リファレンスブックを用いて自宅学習を行う。
	専門科目：	オンライン学習システム上での動画視聴を行う
申込期間・申込方法	申込期間：	~~第１コース：令和４年6月6日（月）～令和4年8月5日（金）終了~~ 第２コース：令和４年11月1日（火）～令和5年~~1月8日（日）~~ **1月22日（日）まで延長しました。**
	申込方法：	「受講の手引き」「指導者マイページ利用マニュアル」をご確認の上、指導者マイページよりお申し込みください。 »受講の手引き »指導者マイページ利用マニュアル
受講費用 ※登録料含む	~~第1コース：14,980円（税込）支払期限；令和4年8月12日~~ 第2コース：15,280円（税込） 支払期限；令和5年~~1月15日~~ **1月29日（日）まで延長しました。** ※費用は申込承認後、指定の期日までに指導者マイページよりお支払いください。 ※費用の支払いが確認できない場合、受講内定を取り消します。	
受講有効期間	~~第1コース：申込完了後（受講料支払後）～令和4年8月28日（日）~~ 第2コース：申込完了後（受講料支払後）～令和5年~~1月29日（日）~~ **2月5日（日）まで延長しました。**	

45

高校部活動は？

競技別ニュース　写真・動画特集　公式グッズはこちら　インターハイ特集

高校総体　合同チーム「ＯＫ」…水球、バスケなど団体９競技

2023/01/24 05:00　この記事をスクラップする

全国高等学校体育連盟（高体連）は２０２３年度から、少子化で部員が減り、チームを編成できない高校が複数で合同チームを組み、全国高校総体（インターハイ）に出場できるよう参加資格を緩和することを決めた。新たな規定を２３日、都道府県連盟に通知した。

LOCAL MATCH
田舎暮らしと転職
地方移住は、見る夢から、叶えるキャリアへ。
local.lifull.io

対象は水球、バスケットボール、バレーボール、ハンドボール、サッカー、ラグビー、ソフトボール、アイスホッケー、ホッケーの団体９競技。これまでは高校が統廃合される前の２年間に限って合同チームが認められていた。

2023年(令和5年)2月3日(金曜日)　11版　社会 26

高校部活も地域移行

県教委、モデル事業始動

ラグビーなど 持続可能な体制模索

卒業式マスクどうなる

新潟日報
R5/2/3

新潟県立高校モデル事業
・県内一律移行ではなく実情に応じた連携が生徒の機会保障に

46

新潟県青少年野球団体協議会 NYBOC の取組

NIIGATA 野球サミット 2016

第1部　稲葉篤紀　様　講演会

第2部　新潟メソッド発表説明会

第3部　野球障がい防止研修会

～キャッチフレーズ～

始めよう！楽しもう！続けよう！

47

NIIGATA 野球サミット 2018

13:10　第１部　研修
「野球障がい予防研修」
新潟リハビリテーション病院院長　山本 智章

13:30　第２部　講演Ⅰ
「野球界の現状とスポーツマンシップ」
北海道日本ハムファイターズスカウト部長
大渕　隆　氏

14:20　第３部　講演Ⅱ
「基調講演：育成のための先人の知恵」
北海道日本ハムファイターズ監督　栗山 英樹　氏

15:20　「トークセッション」
北海道日本ハムファイターズ監督　栗山 英樹　氏
スポーツキャスター　長島 三奈　氏

16:20　第４部　実践発表
「チェンジ！チャレンジ！＋１！！」の実践発表
東青山ブルーソックス監督　登石　聡
新潟明訓高等学校野球部部長　波間 一孝

～キャッチフレーズ～

できることから。新潟から。

野球の未来とスポーツマンシップ

48

新潟野球サミット2022

～キャッチフレーズ～

変えていいもの、いけないもの

【今、子どもとスポーツの未来を考える】

49

高圧的な指導で奪うもの

- 主体性
- 自信
- チャレンジ精神
- 笑顔
- 学ぶキッカケ

益子直美「監督が怒ってはいけない大会を開催した理由」語る NIIGATA野球サミット

12/10(土) 17:56 配信 5

日刊スポーツ

「監督が怒ってはいけない大会を開催した理由」と題した記念講演する益子直美氏

「NIIGATA野球サミット2022」は10日、新潟市・朱鷺メッセで開かれた。

県内12の野球競技団体が加盟する県青少年野球団体協議会主催で今回が3回目。野球指導者以外の他競技関係者を含め、約350人が参加した。

第1部は日本バレーボール協会の益子直美理事（56）が「監督が怒ってはいけない大会を開催した理由」と題した設立10周年記念講演。「ミスして怒られないようにとビクビクしながら試合していた」と自身の競技生活を振り返りながら、高圧的な指導を受けて失うものを「（1）主体性（2）自信（3）チャレンジ精神（4）笑顔（5）学ぶキッカケ」の5点を挙げた。第2部は「子どもの未来　スポーツの未来　野球の未来」をテーマに益子氏、大渕隆氏（日本ハム・スカウト部長）、高橋正紀氏（日本スポーツマンシップ協会副会長）、石井智雄氏（県青少年野球団体協議会副会長）の4人がトークセッションを行った。

50

長岡野球協議会 NaBC の取組

令和5年1月28日開催

スポーツマンシップと野球の未来を考える講演会

主催：長岡野球協議会（NaBC）
共催：長岡市　長岡市スポーツ推進議員連盟
後援：（公財）長岡市スポーツ協会

51

【第1部】 長岡スポーツコンパス
新潟野球メソッド

【第2部】 講 演 会

「スカウトから見た野球界の現状と未来」

【講師】 北海道日本ハムファイターズスカウト部長
大渕 隆 様

52

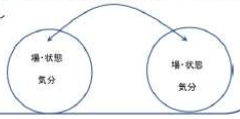
53

Sports do not build character. They reveal it.
スポーツが人格を育てるのではない、スポーツが人格を表すのだ
ジョン・ウッデン

ATLETICSの語源構造
ギリシャ語Athletes（賞を得ることを目的に戦う人、競技者）報酬（名誉、金銭等）を目指して競技すること。激しい肉体活動を伴う競技を要素とし、遊びにおける真面目さや真剣さが重要な要素。

GAMEの語源構造
ゴート語gamen
ga（＝together）＋men（＝man）
人が寄り集まって、一緒に何かを行うことによって得られる楽しみごと

SPORTの語源構造
ラテン語Deportare。
de（＝away）＋portare（＝carry）
ある場所・状態（場・気）からある場所・状態への移動、転換によって得られる楽し



EXERCISEの語源構造
ラテン語Excerere。
Ex（外に）+arcere（隔離、妨害、包囲）で「包囲されている状態から外へ出す、制限しているものから解放する」

©2021 筑波大学 スポーツ環境デザインR&Dプロジェクト室

54

Sports do not build character. They reveal it.

スポーツが人格を育てるのではない、
スポーツが人格を表すのだ

ジョン・ウッデン

55

56

判断と決断の違い

【判断】は、過去に対して客観的に評価すること

過去から現在に至る情報について、分析、整理し、
論理・基準などに従って判定を下すこと。
客観性のある根拠・論理が提示できる、再現性のあるもの。
他の人でも同じ結論を出せるのが判断。業務。

【決断】は、未来に対して主観的に方向性を打ち出すこと

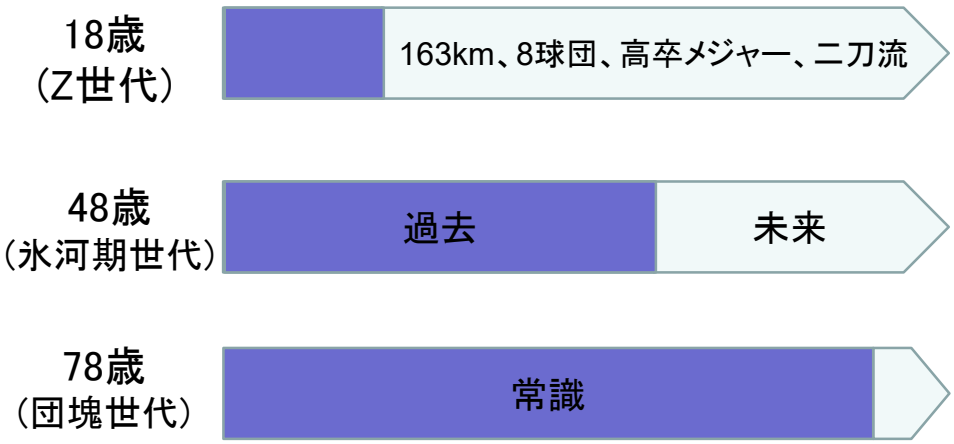
自分の価値観や哲学に基づき、複数の選択肢から「未来」
のために決定すること。そのため、選ばなかった選択肢を断つ
勇気が必要。「なぜそう決めたの？」と問われたときに、
「自分がそう信じるから」としか答えようがないのが決断。責務。

「判断と決断」 東洋経済新報社　中竹竜二著　より

57

58

未来を感じ取る若者の感性



59

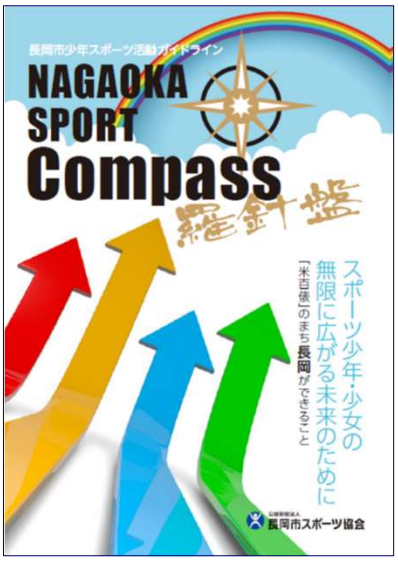
60

自治体ぐるみのスポーツ指導の取組

NAGAOKA SPORT Compass（羅針盤）

61

令和元年12月発表



長岡市少年スポーツガイドライン NAGAOKA SPORT Compass 「羅針盤」

～こどもとスポーツと長岡の未来のために～

長岡市　公益財団法人 長岡市スポーツ協会

（公財）長岡市スポーツ協会HPよりダウンロード可

https://n-spokyo.or.jp/introduction/nagaokasportcompassbusiness/

62

みんなで作った、
みんなのための
「目指す姿」

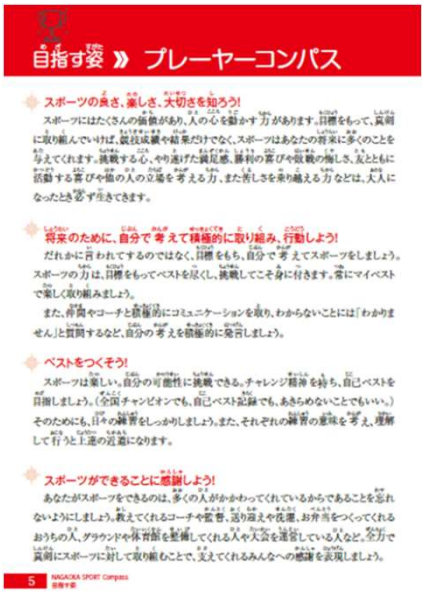
みんなが楽しく、有意義に
スポーツ活動ができるために
それぞれの立場での「目指す姿」を多くの人の意見や
話し合いを行いまとめました。
お互いに声を掛け合って、実現させましょう!

3ページから12ページ

63

プレーヤーコンパス

- ❖スポーツの良さ、楽しさ、大切さを知ろう！
- ❖将来のために、自分で考えて積極的に取り組み、行動しよう！
- ❖ベストをつくそう！
- ❖スポーツができることに感謝しよう！
- ❖相手、仲間、審判を尊重しよう！
- ❖ルールを理解し、守ろう！
- ❖指導者への敬意を持とう！



64

保護者コンパス

❖子どもの可能性を信じて待とう！
❖子どもの自立（自律）を促そう！
❖対話を大切にしよう！
❖子どもの姿を見てあげよう！
❖試合はプレーヤーと指導者の場！
　保護者はグッドサポーターに！
❖勝ち負けにこだわりすぎないように！
❖他の立場を理解しよう！

目指す姿 》 保護者コンパス

子どもの可能性を信じて待とう！

子どもたちの今の力量が全てではありません。身体は細かく発達段階が分かれており、適切な時期に適切なトレーニングをしていくことで、その可能性は無限に広がっていきます。決めつけは、子どもの夢や希望だけでなく、無限の可能性を閉ざしてしまう危険があります。

子どもの自立（自律）を促そう！

子どもの発達段階をふまえながら、自分で自分のことができるように支えていくことは保護者の大切な役割です。保護者から見て、間違っていると思う子どもの判断でも、命の危険がないことや他の人への迷惑を考え、あえて体験させることも重要です。失敗を責めてはいけません。その経験は貴重な財産になるはずですから。

対話を大切にしよう！

人は対話しながら自分を振り返ります。また、話すことで考えを整理したり、結論を導き出したりします。ですから試合の後や練習の後など、子どもの話を聞いてください。聞く→伝える→聞く→伝えるのやりとりが重要です。子どもは聞いているだけでは、全く頭に入らないものです。もちろんタイミングを考えることや場面設定も大切です。

子どもの姿を見てあげよう！

結果だけではなく、練習でがんばっている姿やがんばろうとしていることを理解することで、子どもたちは大きく変わってきます。いつも見てあげることは難しいことですが、試合だけでなく練習も可能な範囲で見てあげるように心掛けましょう。

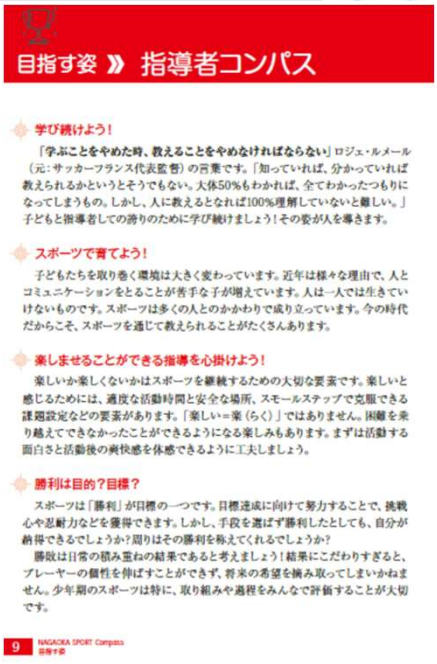
試合とは「ためしあい」と書きます。技術だけでなく日常生活や練習の何を試そうとしているかも見えてきます。もちろん、家庭での姿も！人は人から見てもらえていると嬉しくやる気が出てくるものです。

7 NAGAOKA SPORT Compass 目指す姿

65

指導者コンパス

❖学び続けよう！
❖スポーツで育てよう！
❖楽しませることができる指導を心掛けよう！
❖勝利は目的？目標？
❖プレーヤーを尊重しよう！
❖コミュニケーションを心掛けよう！
❖健康配慮と安全対策を！



目指す姿 》 指導者コンパス

学び続けよう！

「**学ぶことをやめた時、教えることをやめなければならない**」ロジェ・ルメール（元：サッカーフランス代表監督）の言葉です。「知っていれば、分かっていれば教えられるかというとそうでもない。大体50%もわかれば、全てわかったつもりになってしまうもの。しかし、人に教えるとなれば100%理解していないと難しい。」子どもと指導者しての勝りのために学び続けましょう！その姿が人を導きます。

スポーツで育てよう！

子どもたちを取り巻く環境は大きく変わっています。近年は様々な理由で、人とコミュニケーションをとることが苦手な子が増えています。人は一人では生きていけないものです。スポーツは多くの人とのかかわりで成り立っています。今の時代だからこそ、スポーツを通じて教えられることがたくさんあります。

楽しませることができる指導を心掛けよう！

楽しいか楽しくないかはスポーツを継続するための大切な要素です。楽しいと感じるためには、適度な活動時間と安全な場所、スモールステップで克服できる課題設定などの要素があります。「楽しい＝楽（らく）」ではありません。困難を乗り越えてできなかったことができるようになる楽しみもあります。まずは活動する面白さと活動後の爽快感を体感できるように工夫しましょう。

勝利は目的？目標？

スポーツは「勝利」が目標の一つです。目標達成に向けて努力することで、挑戦心や忍耐力などを獲得できます。しかし、手段を選ばず勝利したとしても、自分が納得できるでしょうか？周りはその勝利を称えてくれるでしょうか？

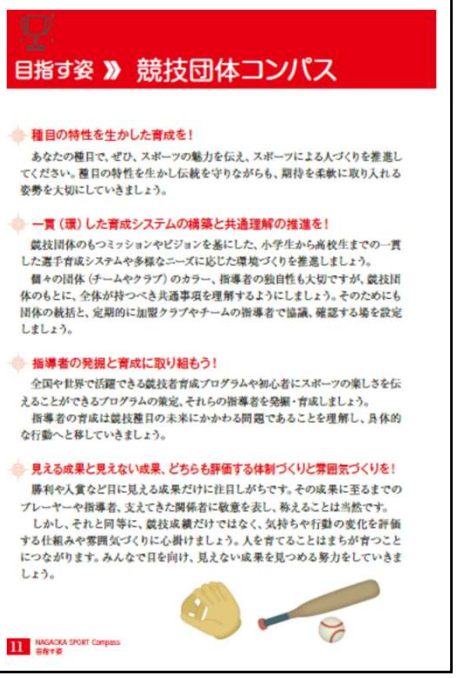
勝敗は日常の積み重ねの結果であると考えましょう！結果にこだわりすぎると、プレーヤーの個性を伸ばすことができず、将来の希望を摘み取ってしまいかねません。少年期のスポーツは特に、取り組みや過程をみんなで評価することが大切です。

9 NAGAOKA SPORT Compass 目指す姿

66

競技団体コンパス

❖種目の特性を生かした育成を！
❖一貫（環）した育成システムの構築と共通理解の推進を！
❖指導者の発掘と育成に取り組もう！
❖見える成果と見えない成果、どちらも評価する体制づくりと雰囲気を
❖機能する組織をめざそう！
❖団体間、他団体との連携を深めよう！
❖基本方針を策定・運用しよう！
❖暴力行為等の根絶に向けたコンプライアンスの意識の徹底を図ろう！



目指す姿 》 競技団体コンパス

種目の特性を生かした育成を！

あなたの種目で、ぜひ、スポーツの魅力を伝え、スポーツによる人づくりを推進してください。種目の特性を生かし伝統を守りながらも、期待を柔軟に取り入れる姿勢を大切にしていきましょう。

一貫（環）した育成システムの構築と共通理解の推進を！

競技団体のもつミッションやビジョンを基にした、小学生から高校生までの一貫した選手育成システムや多様なニーズに応じた環境づくりを推進しましょう。

個々の団体（チームやクラブ）のカラー、指導者の独自性も大切ですが、競技団体のもとに、全体が持つべき共通事項を理解するようにしましょう。そのためにも団体の統括と、定期的に加盟クラブやチームの指導者で協議、確認する場を設定しましょう。

指導者の発掘と育成に取り組もう！

全国や世界で活躍できる競技者育成プログラムや初心者にスポーツの楽しさを伝えることができるプログラムの策定、それらの指導者を発掘・育成しましょう。

指導者の育成は競技種目の未来にかかわる問題であることを理解し、具体的な行動へと移していきましょう。

見える成果と見えない成果、どちらも評価する体制づくりと雰囲気づくりを！

勝利や入賞など目に見える成果だけに注目しがちです。その成果に至るまでのプレーヤーや指導者、支えてきた関係者に敬意を表し、称えることは当然です。

しかし、それと同等に、競技成績だけではなく、気持ちや行動の変化を評価する仕組みや雰囲気づくりに心掛けましょう。人を育てることはまちが育つことにつながります。みんなで目を向け、見えない成果を見つめる努力をしていきましょう。

11 NAGAOKA SPORT Compass 目指す姿

67

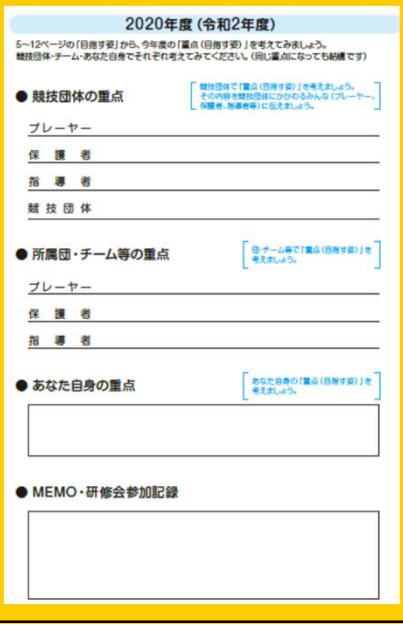
活用するための

「記録編」

継続して有効活用するために、５年間の記録欄を設定しました！

競技団体や少年団（チーム）での話し合いに活用したり、個人の評価や記録に活用したりします。

13ページから18ページ



2020年度（令和2年度）

5～12ページの「目指す姿」から、今年度の「重点（目指す姿）」を考えてみましょう。
競技団体・チーム・あなた自身でそれぞれ考えてみてください。（同じ重点になっても結構です）

● 競技団体の重点
［競技団体で「重点（目指す姿）」を考えましょう。その内容を競技団体にかかわるみんな（プレーヤー、保護者、指導者等）に伝えましょう。］

プレーヤー
保護者
指導者
競技団体

● 所属団・チーム等の重点
［団・チーム等で「重点（目指す姿）」を考えましょう。］

プレーヤー
保護者
指導者

● あなた自身の重点
［あなた自身の「重点（目指す姿）」を考えましょう。］

● MEMO・研修会参加記録

68

活用方法の例（団体）

❖ 目指す姿(プレーヤー･保護者･指導者)の箇所の読み合わせ
･すべての内容について記載内容を理解する。

❖ 所属団、チーム内で重点事項を話し合う
＊プレーヤーでグループ討議
保護者、指導者に対する重点　プレーヤーの重点
＊保護者でグループ討議
プレーヤー、指導者に対する重点　保護者の重点
＊指導者陣(役員を含め)て協議
プレーヤー、保護者に対する重点　指導者の重点

三者が相談した結果を出し合い
話し合って決定！

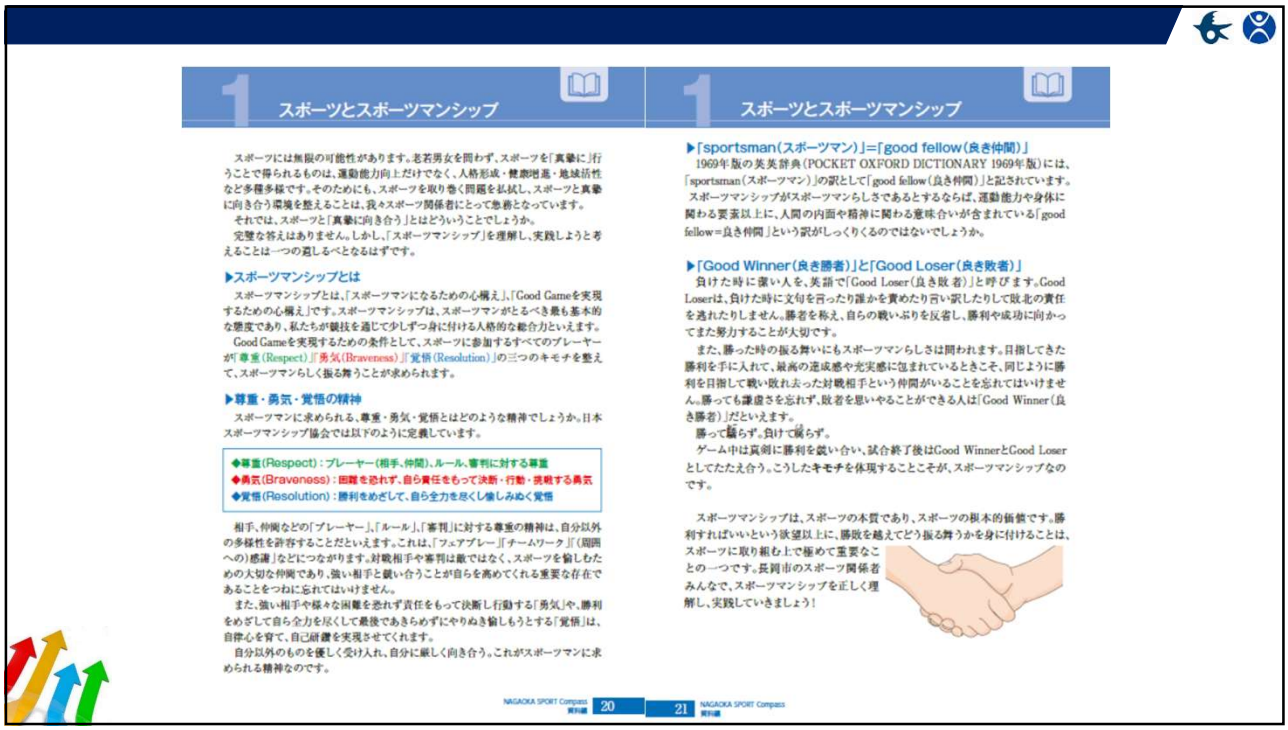
69

学びの道しるべ
「資料編」

19ページから36ページ

1 スポーツとスポーツマンシップ
2 指導について
3 コミュニケーションの考え方･方法
4 スポーツ心理
5 発育発達期と運動
6 トレーニング
7 熱中症の予防
8 スポーツ外傷とスポーツ障害
9 食事･栄養
10 課題を明確にする！振り返りのポイント
11 ドーピング
12 オリンピック･パラリンピック
13 心肺蘇生とAED
14 新型コロナウイルス感染対策について

70



1 スポーツとスポーツマンシップ

スポーツには無限の可能性があります。老若男女を問わず、スポーツを「真摯に」行うことで得られるものは、運動能力向上だけでなく、人格形成・健康増進・地域活性など多種多様です。そのためにも、スポーツを取り巻く問題を払拭し、スポーツと真摯に向き合う環境を整えることは、我々スポーツ関係者にとって急務となっています。

それでは、スポーツと「真摯に向き合う」とはどういうことでしょうか。

完璧な答えはありません。しかし、「スポーツマンシップ」を理解し、実践しようと考えることは一つの答えるべきなはずです。

▶スポーツマンシップとは

スポーツマンシップとは、「スポーツマンになるための心構え」、「Good Gameを実現するための心構え」です。スポーツマンシップは、スポーツマンがとるべき最も基本的な態度であり、私たちが競技を通じて少しずつ身に付ける人格的な総合力といえます。

Good Gameを実現するための条件として、スポーツに参加するすべてのプレーヤーが「尊重(Respect)」「勇気(Braveness)」「覚悟(Resolution)」の三つのキモチを整えて、スポーツマンらしく振る舞うことが求められます。

▶尊重・勇気・覚悟の精神

スポーツマンに求められる、尊重・勇気・覚悟とはどのような精神でしょうか。日本スポーツマンシップ協会では以下のように定義しています。

◆尊重(Respect)：プレーヤー(相手、仲間)、ルール、審判に対する尊重
◆勇気(Braveness)：困難を恐れず、自ら責任をもって決断・行動・挑戦する勇気
◆覚悟(Resolution)：勝利をめざして、自ら全力を尽くし愛しみぬく覚悟

相手、仲間などの「プレーヤー」、「ルール」、「審判」に対する尊重の精神は、自分以外の多様性を許容することだといえます。これは、「フェアプレー」「チームワーク」「(周囲への)感謝」などにつながります。対戦相手や審判は敵ではなく、スポーツを愉しむための大切な仲間であり、強い相手と競い合うことが自らを高めてくれる重要な存在であることをつねに忘れてはいけません。

また、強い相手や様々な困難を恐れず責任をもって決断し行動する「勇気」や、勝利をめざして自ら全力を尽くして最後であきらめずにやりぬき愉しもうとする「覚悟」は、自律心を育て、自己研鑽を実現させてくれます。

自分以外のものを優しく受け入れ、自分に厳しく向き合う。これがスポーツマンに求められる精神なのです。

NAGAOKA SPORT Compass 資料編 20

1 スポーツとスポーツマンシップ

▶「sportsman(スポーツマン)」=「good fellow(良き仲間)」

1969年版の英英辞典(POCKET OXFORD DICTIONARY 1969年版)には、「sportsman(スポーツマン)」の訳として「good fellow(良き仲間)」と記されています。

スポーツマンシップがスポーツマンらしさであるとするならば、運動能力や身体に関わる要素以上に、人間の内面や精神に関わる意味合いが含まれている「good fellow=良き仲間」という訳がしっくりくるのではないでしょうか。

▶「Good Winner(良き勝者)」と「Good Loser(良き敗者)」

負けた時に潔い人を、英語で「Good Loser(良き敗者)」と呼びます。Good Loserは、負けた時に文句を言ったり誰かを責めたり言い訳したりして敗北の責任を逃れたりしません。勝者を称え、自らの戦いぶりを反省し、勝利や成功に向かってまた努力することが大切です。

また、勝った時の振る舞いにもスポーツマンらしさは問われます。目指してきた勝利を手に入れて、最高の達成感や充実感に包まれているときこそ、同じように勝利を目指して戦い敗れ去った対戦相手という仲間がいることを忘れてはいけません。勝っても謙虚さを忘れず、敗者を思いやることができる人は「Good Winner(良き勝者)」だといえます。

勝って驕らず、負けて嘆らず。

ゲーム中は真剣に勝利を競い合い、試合終了後はGood WinnerとGood Loserとしてたたえ合う。こうしたキモチを体現することこそが、スポーツマンシップなのです。

スポーツマンシップは、スポーツの本質であり、スポーツの根本的価値です。勝利すればいいという欲望以上に、勝敗を越えてどう振る舞うかを身に付けることは、スポーツに取り組む上で極めて重要なことの一つです。長岡市のスポーツ関係者みんなで、スポーツマンシップを正しく理解し、実践していきましょう!

NAGAOKA SPORT Compass 資料編 21

71

4 スポーツ心理

▶「メンタルが弱い」って本当ですか?

プレーヤー(子ども)が試合で負けたり失敗した原因を「メンタル」のせいにしていませんか? 指導者や保護者がプレーヤーの「メンタルの弱さ」に注意を向けていると、プレーヤー自身もそれを強く意識するようになってしまいます。そうして、失敗やミスをしないように…と大人の目を気にして委縮するプレーヤーが増えてしまうのです。

一方で、技術が未熟な段階では、少し緊張するだけでパフォーマンスは途端に不安定になることが分かっています。つまり、未熟なプレーヤ…てミスするのは、技術や経験が伴わない…が許される年代に失敗…

熱い気持ち	①忍耐力 ②闘争心 ③自己実現意欲 ④勝利意欲
冷静さや気持ちの安定	⑤自己コントロール能力 ⑥リラックス能力 ⑦集中力
迷いのなさや覚悟	⑧自信 ⑨決断力
スポーツの活動の経験理解、知識	⑩予測力 ⑪判断力 ⑫協調性

25 NAGAOKA SPORT Compass 資料編

4 スポーツ心理

▶「メンタル」を育てる三つのこと

大切なのは、やはり「プレーヤーズ・ファースト」。よく耳にする言葉ですが、ひとりの技術、体力、経験、個性、家庭環境等は全て異なる…くれるプレーヤーをリスペクトしてス…

次に、指導者や…

NAGAOKA SPORT Compass 資料編 26

毎年、計画的に研修会（勉強会）を開催！
プレーヤー向け（勉強会）
保護者・指導者向け（研修会）

72

スポーツの語源「ｄｅｐｏｒｔａｒｅ
「遊び」や「気晴らし」の意味の語

愉しいからこそ「スポーツ」なのです！

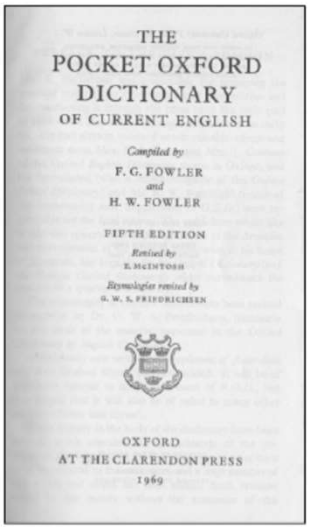
ツは
「自らPLAY(プレー)する真剣な遊び」
であると理解することが大切。

73

スポーツマン

運動競技の選手。
スポーツの得意な人。
【出典】広辞苑（岩波書店）

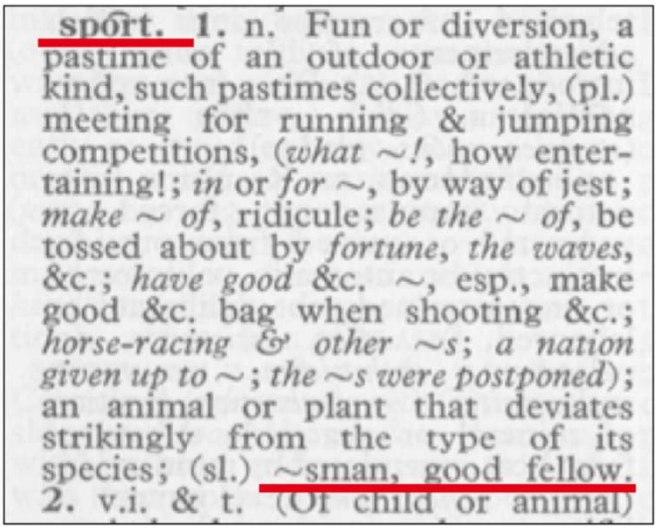
74


THE
POCKET OXFORD
DICTIONARY
OF CURRENT ENGLISH

Compiled by
F. G. FOWLER
and
H. W. FOWLER

FIFTH EDITION
Revised by
E. McINTOSH
Etymologies revised by
G. W. S. FRIEDRICHSEN

OXFORD
AT THE CLARENDON PRESS
1969


sport. 1. n. Fun or diversion, a pastime of an outdoor or athletic kind, such pastimes collectively, (pl.) meeting for running & jumping competitions, (*what ~!*, how entertaining!; *in* or *for ~*, by way of jest; *make ~ of*, ridicule; *be the ~ of*, be tossed about by *fortune*, *the waves*, &c.; *have good* &c. ~, esp., make good &c. bag when shooting &c.; *horse-racing & other ~s*; *a nation given up to ~*; *the ~s were postponed*); an animal or plant that deviates strikingly from the type of its species; (sl.) ~sman, good fellow. 2. v.i. & t. (Of child or animal)

POCKET OXFORD DICTIONARY
1969年版

75

オックスフォード英英辞典

[good fellow]

よき仲間

スポーツマンとは
他人から信頼される人

76

ロングマン現代英々辞典

[a person who is fair,
フェア(公正)
genarous, a good loser,
心の広い　良き敗者
and a gracious winner]
優しき勝者

He is a Good-Sport. ＝ 信頼できる奴だよ

77

78

スポーツマンかどうかに運動能力は関係ない

79

スポーツの複雑さ①

▶真剣に全力で戦うことが大切
　でも、単なる遊びや気晴らしにすぎない
▶勝利こそが最大の喜び
　でも、ズルせずフェアに戦うべき
▶敗北はとてもつらいこと
　でも、勝利した相手を心からたたえよう

80

スポーツの複雑さ②

▶**努力したからといって勝てる保証はない**

▶**すべての場面に共通する正解がない**

▶**がんばってもすぐにうまくなれるわけではない**

81

スポーツの価値

「複雑さ」を受け入れ、向き合い、
葛藤しながら進むキモチが大切

そこに人として成長できる力がある

82

部活動地域移行を含めた小中学生スポーツの共通理解

コンパスリーダーの養成とコンパスリーダーを核とした各団体内おける普及促進。

1. 冊子配布活動
新会員、役員向けに冊子の配布を行う。各団体に照会、必要部数を配布する。
（R3年度に「AED」「新型コロナウイルス等への対処」について追加。）

2. コンパスリーダーの選出・決定
各団体内において、普及促進事業を担当する、コンパスリーダーを選出、決定

3. コンパスリーダー会の開催
(1)コンパスリーダー養成講習会
(2)コンパスリーダー集会

4. コンパスリーダーの活動内容
普及促進セミナーの開催
・各団体内での普及啓発セミナー活動の実施
（目標：各種目団体1回　期間：R4年度末まで）
・出前セミナーの実施　※対象は、スポ少や学校、民間スポーツクラブなど

83

指導者確保と資格

◆ **独自の公認システムの新設**
○「スポーツコンパス」を教科書とした講習会を受講
・長岡市公認指導者資格を付与

◆ **学生アシスタント指導者募集**

◆ **指導者評価システム**
○プレーヤーへのアンケート調査の実施
・問題がある指導者に関しては、種目競技団体と連携して実態把握を行い必要な場合の指導、改善しない場合は辞任を求める。

◆ **資質向上（資格継続）**
○スポーツ協会が実施している研修会への参加が、市独自資格継続の条件
○さらに専門的指導力を身に付けたいという希望者にJSPO資格取得を案内

84

3
これからのこと
～今日のまとめ～

～施策担当者として、多くの機会を通じて思うこと～

私 見

85

再掲

スポーツ庁が求める 新たなジュニアスポーツ環境

【小中学生層を対象として】

❖室伏長官の経験から
・ユース五輪選手から五輪選手の現状

❖大会の在り方の見直し
・日本チャンピオン決める必要性があるのか？
・世界の国々は？

❖ジュニア期からの種目固定制度の見直し

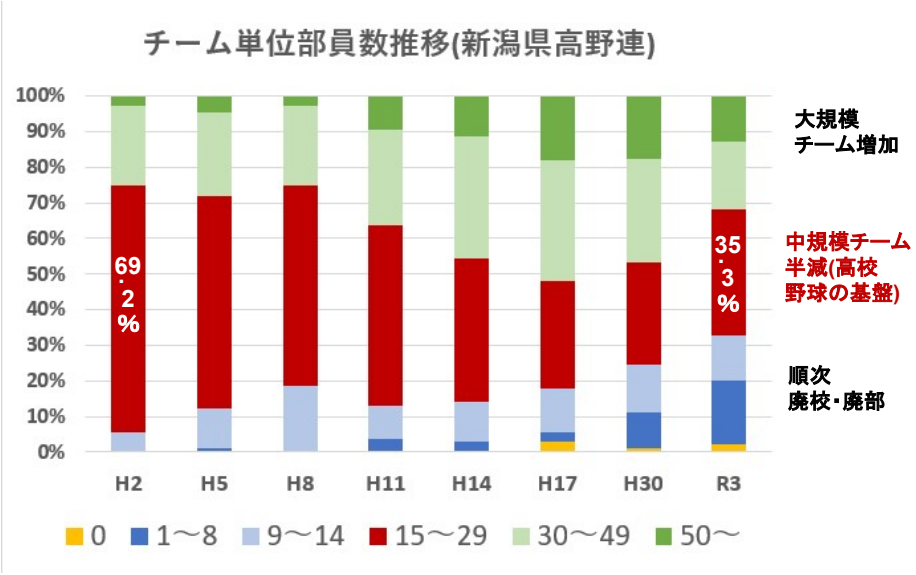
❖強化の必要性（競技団体の都合は×）

❖ニースに応じた体制（大会・活動）

❖地域部活動は「強化」目的ではない

86

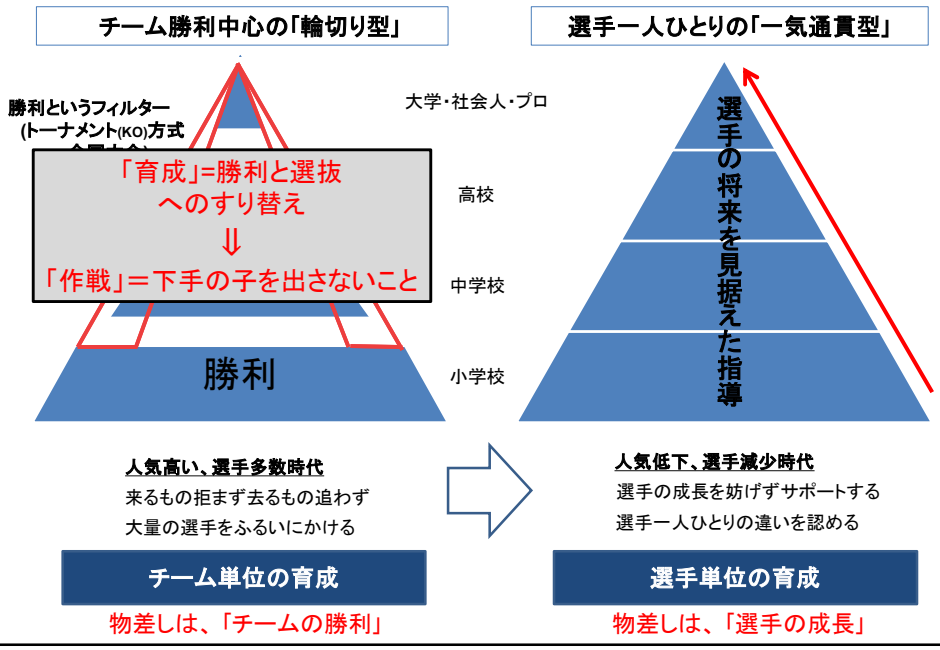
人口減少(量)だけでない、2極化現象(質)



多人数・少人数チームの2極化が進み、チーム力の差が広がる一方。

87

量より質



88

望ましいスポーツ環境推進を阻害するもの

❖勝利至上主義

❖世代別チャンピオン制度

❖商業主義（大人の都合）

❖進路実態

89

勝利至上主義とは

「勝利する者は尊いものであり、敗者はそれより劣る」
という優勝劣敗の考え方

❖その勝利のために手段選ばす、子どもたちの思いや将来を犠牲にしても手に入れようとする行為

❖「勝利至上主義」という言葉は，スポーツの世界で使用される語彙であり，広辞苑などの一般的な辞書には掲載されていない

90

勝利を求めてはいけないのか？（勘違い）

❖スポーツは「勝利する」ことを求め、真剣にプレーすることでなりたつもの。勝利を求めることを否定しているものではない

●しかし、大人の都合や手段を選ばないことが問題
●スポーツマンシップを学び、日常実践する必要性
●勝敗を真剣に競うことでしか身に付かないことも多い

でも

❖スポーツするもの、勝利を目指すものが絶対に身に付けておかなければならない「絶対基本」がスポーツマンシップの考え方

91

部活動地域移行・望ましいジュニアスポーツ環境構築

～進めるなかで 現状の課題～

◆意識改革の難しさ

◆個人主義

◆他力本願（当事者意識不足）

◆勝利至上主義

92

課題　それぞれの立場でどうすれば進む？

そもそもスポーツとは何かを理解することを基盤にして

●行　　政　　担当部署の明確化
●競技団体　　自競技の都合のみの主張をやめる。
　　「これまでこうだった」からの脱却
●教　　員　　部活動ではないという認識
●指 導 者　　自分と自分のチームの都合以上に全体を考える
●保 護 者　　自分と自分の子どものことだけでなく全体を考える

93

なぜ、勝利至上主義や意識改革が進まないのか？

「勝利」同等の価値をもつものがありそうだ

◆行　　政　　業務を増やさない（他の組織にやってもらいたい）
◆競技団体　　これまでの慣習を変えたくない（面倒をしなくてすむ）
◆教　　員　　学校での立場や生徒、保護者、同僚からの信頼
　　（授業だけで獲得が難しい信頼関係や尊敬の念）
◆指 導 者　　立場や尊厳の維持（承認欲求・プライド）
◆保 護 者　　満足感（日ごろの支援の報われ感、子どもと同一化
　　と一緒にこれだけやった感）

94

なぜ、勝利至上主義や意識改革が進まないのか？

今後のために必要なこと

❖人と人の繋がりを大切に　（時間がかかるもの）
　個人優先ではなく全体を考える力

❖正しい情報伝達と情報収集
（SNSのつぶやき、１人の思い、一部の報道）だけで判断しない

・地域性の違いから、それぞれの方法を自分たちで考えること
・隣接市町村との協力体制
・会合への参加や情報を確認する
　（部活動は強制力があった…校長会、中体連、顧問会）

95

行政と学校現場

「主体は生徒」を忘れない

1　行政の現状
・広域市町村ほど、全地域で可能な方策立案の難しさ
（地理、交通環境、現存受け皿と新規開拓受け皿、生徒のニーズ　etc・・・）
・所管担当部署決定の難しさ

2　学校現場の姿勢
・情報を取りにいく。理解する。(多忙でそこまでの時間もない現状ではあるが)
・提案に対して課題を言うだけでは進まない。主体的な姿勢と当事者意識
（土日の活動、中体連の大会・・・）

「できない理由を言うより、できることを探しましょう」

96

最後に

❖部活動の概念からの完全脱出

学校が準備開始すべきこととして

❖部活動に代わるものを考える

97

ご静聴ありがとうございました

98